

びかいのトラ

【特集】市民インタビュー

明るく・楽しく・元気よく

羽村市の活性化と社会貢献を

羽村市商工会女性部



No.152

令和7年(2025年)
11月1日発行
(通巻261号)

●市民インタビュー	P2
●令和6年度決算審査	P4
●審議した主な議案	
市長提出議案	P10
議員提出議案	P11

●議案の議決結果	P12
●市政について問う	
《一般質問》	P14
●議会活動報告	P23

明

るく・楽しく・元気よく

羽村市の活性化と社会貢献を

羽村市商工会女性部

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢いらっしゃいます。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思っています。今回は環境まちづくり委員会が担当しました。

【表紙の写真】（令和7年7月撮影）
羽村市商工会女性部の主催事業
「もう一度花嫁」

羽村市商工会女性部は商工会の内部組織として発足。地域活性化・社会貢献を目的に、商工会に加盟する事業者の女性会員で組織。2016年に、地域活動の成果を発表する全国商工会女性部連合会主張発表大会において、主催事業である「もう一度花嫁」をテーマに発表し、関東ブロック大会で優勝。全国大会で優秀賞に輝きました。

商工会、女性部の活動と皆さんのお仕事は？

羽村 紀代子さん（ピアノ教室）



商工会女性部は発足43年。現在37名で、40から70歳代が中心です。会員の業種は様々で、それぞれの得意分野を活かしながら活動。私は不動産賃貸の家業を引き継ぎながら、ピアノ講師をしており、昨年から女性部の部長を務めています。

加藤 章子さん（化粧品販売）



学校を出てすぐ結婚。主人の転勤などでフルタイムでは働けず、色々な仕事を経験。羽村に落ち着き、主人の勧めで基礎化粧品品の仕事を始め、人間関係が広がりました。女性部の活動に楽しく参加しています。

藤巻 小百合さん（喫茶）



羽村高校近くのコーヒー豆焙煎専門店です。

入江 真紀子さん（レストラン）



茶も開いています。31年前、開業してすぐにママ友に誘われて加入。女性部副部長も経験しました。「まちゼミ」では、美味しいコーヒーの入れ方講座を開いたことがあります。

森川 かおるさん（花店）



の焼き方などの講座を行いました。市役所通りで花屋を始めて31年。「もう一度花嫁」ではブーケを工夫して作るのが楽しく、励みになっています。女性部は全国組織ですから研修などで年齢、業種などを越えた様々なつながりができますね。

「まちゼミ」とは

市内のお店の方が講師になり、プロならではの情報を受講者に伝える商工会主催事業です。商工会女性部の方も多数講座を実施しています。



「もう一度花嫁」は好評ですね

羽村 化粧品販売をしていた元部員さんが老人ホームで入所者にお化粧をするボランティアをし、車イスの方にウェディングドレスをかけてあげたら涙を流して喜ばれたそうです。

そこで、「あの頃の乙女に戻ってみませんか」もう一度花嫁」を企画。2013年に開始し、今回が8回目。参加費は写真やフィルム代などの実費20000円のみ。部員が、各参加者に合うドレス、ティアラや花束とのバランスを考え、ヘアメイクを仕上げます。

人生の節目や思い出づくりに、お手伝いできるのが嬉しいですね。

「もう一度花嫁」とは

女性部が主催する独自事業。希望者がウェディングドレスを着て記念撮影を行うなど、花嫁姿をもう一度体験するもの。対象は市内在住・在勤で60歳以上の方。毎回10名程度の方が参加しています。



2016年の全国商工会女性部連合会の主張発表大会では、事業で使用するドレスやアクセサリを寄贈してくださった当時の部長の矢部久子さんが発表をし、優秀賞をいただきました。

藤巻 発表時の映像は、羽村市の紹介、桜やチューリップ、花嫁姿、家族との記念撮影の様子を撮影し、作成。話し方の指導やナレーションは、私が学ぶ「NHK学園話し方講座」の先生にご協力いただきました。優秀賞の受賞は、今でも大きな励みになっています。

市民と産業のまつりやチューリップボランティアでの活動も

森川 「市民と産業のまつり」には毎回出店しています。本場、山形から取り寄せる「玉こんにゃく」が人気で、500食以上売れ、売り上げの一部を社会福祉協議会に寄付しています。

加藤 青年部と協力し、根がらみ前水田を借りてチューリップの球根掘りから植え付けまで行った「花と水のまつり」では、青空の下、きれいに咲いたチューリップ畑にて、部員がウェディングドレス姿で撮影。夫役は青年部の部員たち。「もう一度花嫁」のPRに

なりました。

この写真は好評でしたね。



入江 皆さん、それぞれの分野のスペシャリストで、活動的。親子ほどの年齢の違いも新たな発見や経験になり、女性部で活動する意味を感じています。

今後の展望は？

羽村 社会貢献活動での市内活性化と地域振興が女性部の目的です。

羽村市商工会女性部

羽村市商工会会員は約1050社。女性部は現在37名。商工会会員の配偶者や事業に関わる親族も加入できる。総会、常任委員会、研修旅行やイベント協力などを通して、住民福祉の向上にも努める。

※会費 月500円

※連絡先 042-555-6211

(羽村市商工会事務局)

インタビューを終えて

様々な業種で活躍している女性部の皆さんは、社会的役割に向き合い、学びあって能力を発揮。

地域活性化・社会貢献の推進者として可能性を広げ、「充実した人生」を目指している、と感じました。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。



2024年 関東ブロック大会

市のイベントへの協力や審議会、女性部連合会の研修会などにも参加。多くの人との出会いが自己の可能性を広げると思います。

年齢制限はないので、一緒に活動する方が増えたら嬉しいですね。

「明るく、楽しく、元氣よく」をモットーに掲げ、「女性の活力を社会の活力に」と活動分野を広げています。

議会がしっかり

市のお金の使い方をチェック！

令和6年度決算を **認定** しました

9月17日から19日に、令和6年度一般会計等決算審査特別委員会を開催し、市長から提出された前年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算の認定に係る議案の審査を行いました。採決の結果、すべての会計の決算を認定すべきと決定しました。

この審査結果を9月26日の本会議で報告し、7つの会計すべてを認定しました。

本会議での議決の様子はこちら

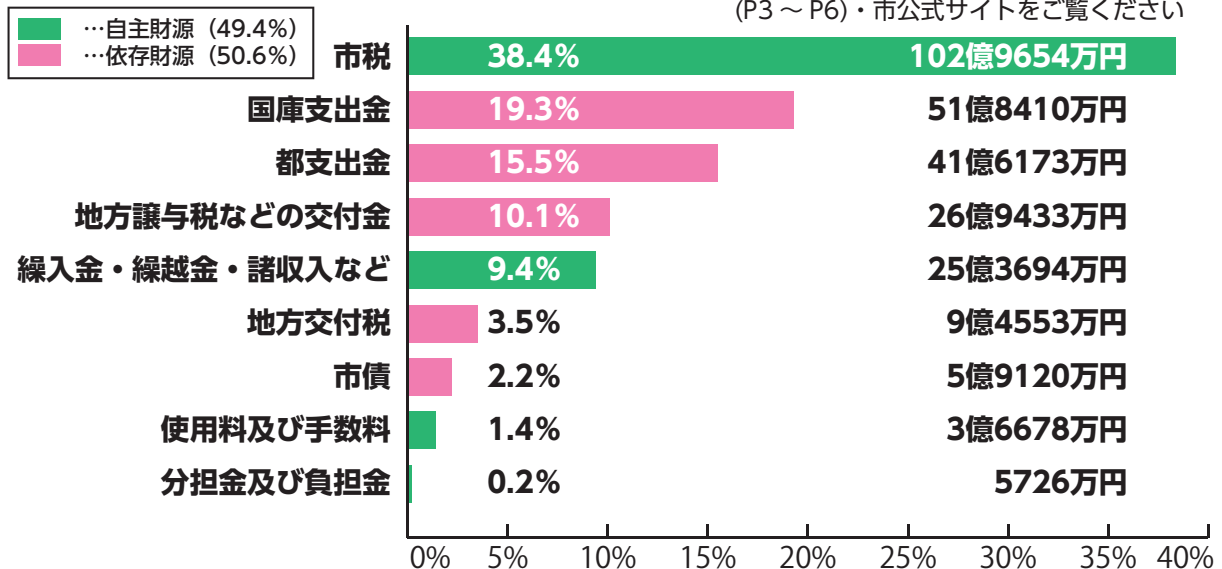
一般会計歳入(収入率99.7%) 268億3,440万6,391円

※グラフの金額は千円単位を四捨五入

※収入率…予算現額に対する歳入の割合

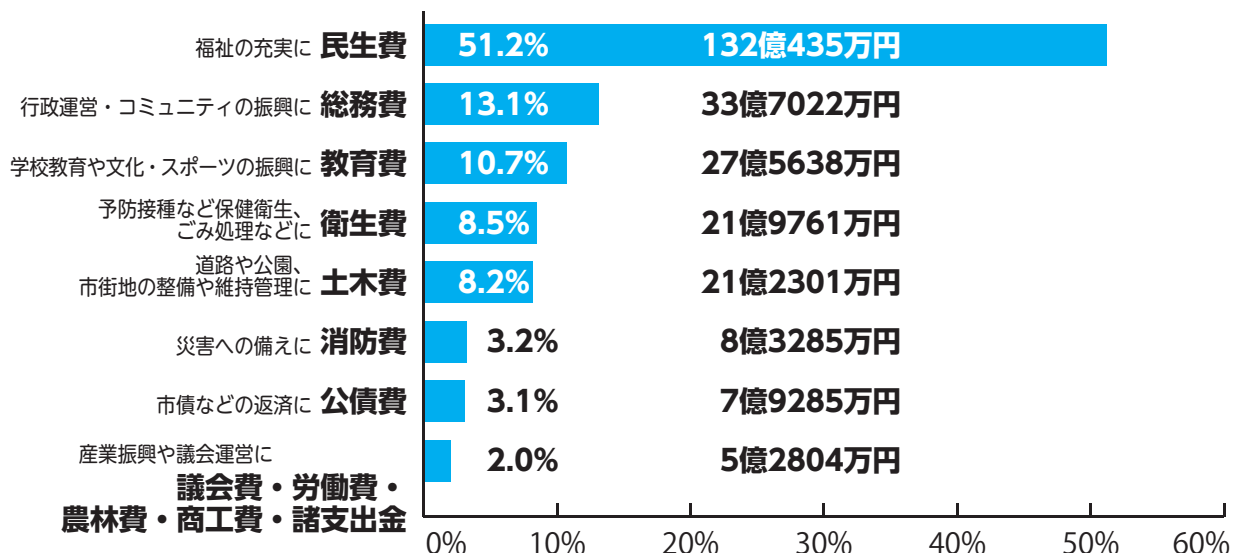


※詳細な決算の内容は、広報はむら11月1日号(P3～P6)・市公式サイトをご覧ください



一般会計歳出(執行率95.8%) 258億530万9,161円

※執行率…予算現額に対する歳出の割合



予算執行

市が各施策やイベントを実施する際に費用を払います



議会はどのように施策を実施しているか監視します

会計管理者が決算書をつくり市長に提出します



市長は提出された決算を監査委員の審査に付します



地方自治法の規定に基づき審査します

監査委員は決算の内容を審査し意見を付けます



その意見の内容は？

決算審査

市長は監査委員の意見を付けて議会の認定に付します

決算審査特別委員会

議長と監査委員を除く16人の議員がメンバーです
どのように税金が使われたのか詳しく審査します

どんな質疑が行われたかは、次ページをご覧ください

本会議
決算を
議決します



市は、審査での質疑等を踏まえ、来年度の予算を作成していきます

監査委員の 審査意見



監査委員はどんなところを審査したの？

歳入歳出決算書・付属書類が法令に準拠して作成されているか、予算の執行は適切だったのか、などを審査しました。



渡辺 晃
代表監査委員



門間 淑子
委員（議員選出）

意見

- ・令和6年度に内部統制取組方針を策定し、重大な不備はないものの、細かいミスが発生したことを確認した。市長がリーダーシップを発揮し、一層の統制を。
- ・厳しい財政状況を市民に広く公表し、職員一体となった事務事業の総点検による行財政改革への取組などが必要。
- ・公共施設の老朽化で利用中止が相次ぐ中、施設削減でも市民サービスを低下させない創意工夫と、市民への丁寧な説明、納得できる在り方を模索する事を期待。
- ・DXの進展で市民利便性は向上したが、システム費用が増加している。国へ財政支援策を強く求めていくことを要望。

質 疑

令和6年度決算審査特別委員会

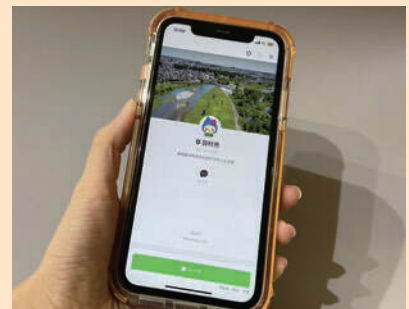
一般会計歳入

- Q 企業版ふるさと納税は、前年度比で約196万円の増となった。どのように成果をあげたのか。
- A キャッチコピーを定め、市長からのメッセージの動画配信や、市と関連する企業等へのチラシの送付等、周知に取り組んだ結果、令和5年度より寄付額が増加した。
- Q 市民税個人分が当初予算より増となった理由は。
- A 土地や株式等の譲渡所得に係る分離課税分が大幅に増額したことや、給与所得に係る所得割の伸び率を1.5%と見込んでいたものが、1.7%となったことなどによるものである。

一般会計歳出

行財政

- Q [総務費]内部統制制度の取組を行い、結果として細かいミスが発生したことを確認したが、このミスは制度がなければ見つからなかったものか。
- A ミスの内容はメールの誤送信など。制度がなければ見つからないというものではない。ミスが発生した時点で対応・是正措置を行っている。
- Q [総務費]市公式LINEを開設したが、登録者数の伸びは。
- A 令和6年度末までで5268人である。
- Q [総務費]インプレスライド等による契約変更の申し出は。
- A 令和6年度中はなかった。
- Q [衛生費]公共施設の電気(新電力)のCO₂排出量が令和5年度から倍増した原因とその改善策は。
- A 電力供給会社の二酸化炭素排出係数によるもの。業者との契約は、電力の安定的な供給、契約金額など、様々な点を鑑み検討する必要がある。



市公式LINEアカウント



想定浸水深表示板(まるとまちごとハザードマップ)の一例

安全・安心

- Q [消防費]想定浸水深表示板(まるとまちごとハザードマップ)を市内24箇所に設置したが、場所の選定は。
- A 多摩川沿いの洪水・浸水の可能性が高い地域に、均等な間隔を付けて設置した。
- Q [消防費]避難行動要支援者登録制度の個別避難計画作成の進捗は。
- A 計画作成した方は67人。うち、町内会や民生委員への計画の提供に同意を頂いた方が44人である。

くらし

- Q [土木費]街路照明灯の電気料が前年度の約1.5倍となっている理由は。
- A 原油価格高騰等で単価が上昇しており、令和6年度は企業への物価高騰対策に関する補助金給付事業が終了したため。
- Q [土木費]自転車に関する規制が厳しくなる中、市道に自転車専用レーンやナビマークを令和6年度で設置した数は。
- A 実績はない。設置については、今後総合的に考えていく。



LED 街路照明灯



認知症サポート検診の受診を判断できる、認知症の気づきチェックリスト

福祉・健康

- Q [民生費] 認知症サポート検診は、50人分の予算を計上したものの、実際の受診者数は6人と執行率が低い。改善策は。
- A 実施期間の延長や、広報等の周知に努める。
- Q [総務費] 生理用品の配布回数が4回から2回に減った理由は。
- A 男女共同参画週間等の時期に集中的に配布した。配布数は令和5年度と変わらない。

子育て・教育

- Q [民生費] 子供の発達に困りごとのある保護者が子供との関わり方を学ぶ、ペアレントトレーニングを定員8人で全6回実施したが、回数を減らし、定員を増やすべきだったのでは。
- A 講義だけでなく、グループワークなども盛り込んだ連続講座としており、日本ペアレントトレーニング研究会のモデルを参考に、望ましい体制で実施した。
- Q [教育費] 東京都校内別室指導支援員配置事業の評価は。
- A 概ね効果的と評価している。仮想空間等における支援(バーチャル・ラーニング・プラットフォーム)を含め、様々な組み合わせた不登校防止の支援が必要であると考えている。
- Q [教育費] バーチャル・ラーニング・プラットフォームの利用を増やす工夫は。
- A 対象者に利用案内配布や周知を行い、利用説明会を3回実施した。ペアレントトレーニングの講座イメージ



特別会計

国民健康保険事業会計

歳入決算55億2,571万2,374円(収入率96.5%) 歳出決算53億5,484万4,961円(執行率93.5%)

- Q 国民健康保険税の値上げ率と影響額は。
- A 改定率は4.6%である。被保険者数が令和5年度と同数と仮定した場合、5438万5000円の^{*}調定増となるが、実際には被保険者数が減少したため、2308万7000円の調定増となった。
- Q 国保財政健全化計画では、6000万円ほど法定外繰入金の削減を見込んでいたようだが、それより多い削減額となった理由は。
- A 被保険者数の減少により東京都の国民健康保険事業費納付金下がったためと認識している。

※調定…地方公共団体の収入の手続の一つ。納入すべき金額や納入義務者など、徴収に関することを決定する行為。

介護保険事業会計

歳入決算45億2,282万1,503円(収入率100.4%) 歳出決算44億1,093万9,058円(執行率98.0%)

- Q 介護保険料の値上げによる影響額は。
- A 第5段階を月額5100円から5600円に増額する等の改正をし、決算ベースでの影響額は約1億1660万円である。

羽村駅西口土地区画整理事業会計

歳入決算18億2,010万9,265円(収入率88.5%) 歳出決算15億9,957万1,855円(執行率77.8%)

- Q 都市づくり公社への事業委託は計画通り行われたのか。
- A 令和6年度に予定していた工事は令和7年5月までに終了した。
- Q 東京都の交付金5億2200万円の充当先は。
- A 6棟分の補償金に充当している。
- Q 建物補償調査の棟数が、予算時点では17棟であったが、27棟に増えた理由と調査場所は。
- A より多くの調査をすることで、権利者の意向や課題を捉え、6か年の事業範囲を円滑に進めていくため。新奥多摩街道から牛坂通り、駅前、旧青梅街道等を囲む広範囲の調査を行った。

※後期高齢者医療会計(歳入決算16億4,331万4,222円(収入率100.2%)、歳出決算16億2,918万2,487円(執行率99.3%))については、質疑はありませんでした。



公営企業会計

■水道事業会計

収益的収支(税抜) 収益 10億 179万8,717円 資本的収支(税込) 収入 3億2,170万 481円
費用 8億3,926万1,666円 支出 6億8,122万9,236円

Q 第1配水場への送水管二重化計画の設計・工事はどのように進んだのか。計画通りだったのか。

A 設計については令和5年度に完了し、令和6年度に予定していた工事は計画通り完了した。全体工事は、令和9年度に完了予定である。

■下水道事業会計

収益的収支(税抜) 収益 10億2,435万6,885円 資本的収支(税込) 収入 2億8,653万1,000円
費用 11億 729万6,987円 支出 5億7,633万3,158円

Q 内水浸水想定区域図の公表はいつか。

A 最大降雨を1時間あたり153ミリメートルとして区域図を作成した。他の降雨パターンでのシミュレーションなども行い、雨水管理総合計画と併せて公表予定である。

決算について、賛成、反対の意見を表明

討 論

一般会計

一般会計では7件の討論があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

反対 大きな問題点を持つ決算である

小学校体育館へのエアコン導入などの評価できる施策があった一方で、30種類を超える公共料金の値上げや、区画整理事業会計7億2600万円余りを繰り出すなど、大きな問題点を持つ決算であり、賛成できない。
〈日本共産党〉

賛成 将来を見据え取り組んだことを評価

子供たちへの投資、市民の安全・安心対策、地域の強靱化対策への投資、行政のデジタル化への投資の3つの観点から執行したものであり、限られた財源の中で実施し、将来を見据えたまちづくりに取り組んできたものと評価する。
〈公明党〉

賛成 行政サービスの充実を評価

こども計画の策定や災害・危機管理対応力の強化、LINE公式アカウントを利用したスマートフォンによる行政サービスの充実が図られた。引き続き、財政の健全化に努めながら、市民福祉の向上に取り組んでいただきたい。
〈新政会〉

賛成 市民福祉増進に寄与する決算

S & Dスポーツパークのこども広場の整備、民間事業者による学童クラブの学校内開設・運営、小学校トイレ洋式化推進、洪水浸水想定地域への表示板設置など、市民福祉の増進に寄与する年度となったので、賛成する。〈羽村市議会都民ファーストの会〉

賛成 こども計画策定等を高く評価

単年度の財政力指数が7年連続で下がり続け厳しい財政状況の中で、投資的経費の多くを占める羽村駅西口土地区画整理事業の見直しは必要と考えるが、物価高騰対策としての定額減税事務や収納率の維持、羽村市こども計画策定等を高く評価する。〈令和かがやき〉

賛成 収納率の向上を評価

滞納整理業務E B P Mなどの導入により、滞納繰越分の収納率を向上させたことは評価できる。また、国の補助金の確保など、財源確保の取組は今後も期待できる。更なる歳入確保への創意工夫に努めてもらいたい。
〈双葉会〉

賛成 市有地売却や給食費無償化等を評価

歳入では市有地の売却や企業版ふるさと納税の実施があり、歳出でも定額減税の補足給付や学校給食の無償化など評価できる。最小限の経費で最大限の成果をあげ、市民サービスの向上に努めることを期待し、賛成する。
〈つながる力〉



討 論

特別会計・公営企業会計

国民健康保険事業会計、介護保険事業会計ではそれぞれ2件、羽村駅西口土地区画整理事業会計では3件の討論がありました。採決の結果、いずれの会計も賛成多数で可決すべきものと決定しました。

その他の特別会計、公営企業会計では討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定しました。

■国民健康保険事業会計の討論■

賛成 適切な国保事業の実施を評価

法定外繰入で被保険者の負担軽減を図りつつ、税率改定、収納率上昇、医療費適正化等に取り組み、適切な国保事業の実施に努めたと評価し賛成。なお、今後の税率改定では生活への影響に配慮し過度の負担を避けること。
〈新政会〉

反対 保険税の抑制が必要

社会保険に比べ、約2倍と高すぎる保険税を更に引き上げたため、反対する。医療保険全体の改革が必要であるが、改善までは、必要な公費を投入するなど保険税の抑制が必要。
〈日本共産党〉

■介護保険事業会計の討論■

賛成 将来に向けた適正な改定と評価

令和6年度の保険料は税率改定に伴い12.4%増加し、将来の安定給付に向けた適正な改定と評価。制度の持続性確保へ、介護予防・自立支援施策を推進し、地域で支える仕組みの視点が重要。
〈新政会〉

反対 公的負担の割合を増やすべき

保険料を引き上げた決算であり、反対する。市は、他の区市町村と連携して、公的負担の割合を現在の50%から引き上げるよう、国や都に対して、もっと強気に働きかけるべき。
〈日本共産党〉

■羽村駅西口土地区画整理事業会計の討論■

賛成 市の負担にも配慮した決算

令和6年度羽村駅西口土地区画整理事業会計決算は、土地区画整理事業の推進を図りつつも、権利者に寄り添い、また、国庫補助金等の特定財源を有効活用することで、市の負担にも配慮したものとなっているので賛成。
〈新政会〉

反対 事業は即刻見直しすべき

広い道路を造るため、総事業費436億円で970棟を取り壊す区画整理は市の財政危機を招く。決算は4億5653万円の減額。住民の反対で事業は進まず、開始22年間で移転率21%に対し、事業費は倍の40%を使用。即刻見直しすべき。
〈世論〉

※質疑、討論の内容は要約しています。

詳細は会議録をご覧ください。

インターネットで会議録をご覧になる場合、

「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」→「令和6年度一般会計等決算審査特別委員会」

※第3回定例会の会議録の公開は11月中旬頃を予定しています。



賛成 効率的・効果的な事業推進を確認

令和6年度から令和11年度までの6か年の事業範囲の初年度で、3つの優先事項を定め、効率的・効果的に事業を進めていることが確認できた。今後とも多くの市民の声に真摯に耳を傾けることを望み、賛成する。
〈羽村市議会都民ファーストの会〉

議案審議

■第3回定例会（9月）に市長から提出された議案は、決算認定7件、条例に関する議案6件、補正予算案7件、その他の議案7件、あわせて27件を認定・可決・同意・答申しました。

■委員会提出議案は、規則改正1件を可決しました。

■議員提出議案は、特別委員会の設置1件を可決しました。

■審査した陳情3件は1件が趣旨採択、2件が不採択となりました。

主な議案の概要は次のとおりです。

※内容は要約しています。
詳細はインターネット録画中継でご覧いただけます。

9月9日、
9月26日を
ご覧ください



市長提出議案

羽村市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

「いづれでも通園制度」の実施に伴い

基準を定める条例を制定

【主な内容】 令和8年4月1日から全自治体で本格実施される乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について、事業者の認可に必要な設備及び運営に関する基準を定める。

【施行日】 公布の日

【議決結果】 原案可決



こども誰でも通園制度の概要
（こども家庭庁公式サイトより）

令和7年度羽村市一般会計補正予算(第5号)

防犯機器等の購入補助を

継続するための経費などを計上

【主な内容】 歳入歳出それぞれ1930万3千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ274億3712万円とする。

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 住まいの防犯機器等購入緊急補助事業による防犯機器等の補助は、これまで何世帯に行ったのか。

A 255世帯である。

Q 今回の補正で、何世帯に補助を行う予定なのか。

A 1世帯の上限を3万円とし、300世帯と見込んでいる。

羽村市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

生活保護法に準じて行う事務などの規定を改正

【主な内容】 関係法律の施行及び情報システムの標準化並びに乳幼児等の医療費助成事業の所得制限の撤廃に伴い、条例の一部を改正する。

【施行日】 令和7年10月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

- Q 生活に困窮する外国人に対する生活保護法に準じて行う事務が、準法定事務になったが、施策の中心は変わらないのか。
- A 生活保護歩受給者への条例改正による影響はない。

令和7年度羽村市一般会計補正予算(第4号)

街路樹剪定に係る経費や学校等の空調設備の故障に伴う修繕費等を計上

【主な内容】 歳入歳出それぞれ10億6342万9千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ274億1781万7千円とする。

主な歳入

地方交付税、繰入金、国庫支出金、都支出金など

主な歳出

総務費「富士見平児童遊園廃止に伴う町内会占用物件の撤去・移設費用支援を行う経費など」

民生費「学童クラブのDX推進に係る経費など」

衛生費「廃食用油回収事業推進に係る経費など」

土木費「街路樹剪定に係る経費、水上公園の利活用検討のための業務委託料など」

教育費「羽村東小学校音楽室等の空調設備故障修繕料、エデュケーション・アシスタント増員に伴う経費など」

【議決結果】 原案可決

羽村市児童遊園条例の一部を改正する条例

富士見平児童遊園の廃止に伴い条例を改正

【主な内容】 児童遊園用地として借用している土地を返却することに伴い、富士見平児童遊園を廃止するため、条例の一部を改正する。

【施行日】 令和7年10月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

- Q 用地を買い取って欲しいという要望はなかったのか。
- A 申し出はあった。庁内で議論を行った結果、公共施設等総合管理計画の方針に基づき、返却することとした。
- Q 市内の児童遊園のうち、借地はいくつあるのか。
- A 富士見児童遊園を含め6施設である。

議員提出議案

公共施設再配置調査特別委員会を設置について

新たに特別委員会を設置しました

【委員会の名称】

公共施設再配置調査特別委員会

【委員の定数】 18人

【目的】 人口減少及び公共施設の老朽化が進む中、将来の適正な公共施設の整備に向けた調査を行うこと。

【調査事項】 公共施設の再配置に関すること

【調査期間】 議会で調査終了を議決するまで

【議決結果】 原案可決

第3回定例会(9月)の議決結果

■全会一致となった市長提出議案(令和6年度決算認定を除く)

件名	議決結果
羽村市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
羽村市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例 → P11	
羽村市事務手数料条例の一部を改正する条例	
羽村市児童遊園条例の一部を改正する条例 → P11	
羽村市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例	
羽村市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 → P10	
令和7年度羽村市一般会計補正予算(第4号) → P11	
令和7年度羽村市一般会計補正予算(第5号) → P10	
令和7年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	
令和7年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第2号)	
令和7年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第1号)	
令和7年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第1号)	
令和7年度羽村市下水道事業会計補正予算(第1号)	
令和6年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案同意
教育委員会委員の任命について(2件)	
固定資産評価審査委員会委員の選任について	
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(3件)	異議ない 旨答申

■令和6年度決算認定

件名	会派名（数字は人数）									本会議での 議決結果
	新	公	令	共	ネ	都	世	つ	双	
	(5)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	認定
特別会計										
国民健康保険事業会計 歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
後期高齢者医療会計 歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護保険事業会計 歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
福生都市計画事業羽村駅西口土地 区画整理事業歳入歳出決算	○	○	×	×	×	○	×	○	○	
公営企業会計										
水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
下水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

■委員会提出議案

件名・概要	提出した委員会	議決結果
羽村市議会会議規則の一部を改正する規則 →議場に電子採決システムを導入することに伴い、表決の方法について、規則の一部を改正する。	議会運営委員会	原案可決

■議員提出議案

件名	議決結果
公共施設再配置調査特別委員会の設置について →P11	原案可決

■陳情

件名	審査した 委員会	会派名（数字は人数）								本会議での 議決結果	
		新	公	令	共	ネ	都	世	つ		双
		(5)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)		(1)
都市計画事業認可を西口土地区画事業に	環境 まちづくり 委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
「建築物石綿含有建材事前調査・除去 費用の国民への周知と国民負担軽減措 置を求める国への意見書」提出を求め る陳情書		□	□	□	-	□	-	-	□	□	趣旨採択※
『行政は先を読み 今を決めるべし』 と市長に勧告を		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※趣旨採択を求める討論と採決（採択）を求める討論があり、まず趣旨採択を諮った結果、賛成多数で趣旨採択と決定しました。

凡
例

■各会派の賛否■

議案／

○…賛成

×

…反対

陳情／

○…採択

×

…不採択

□…趣旨採択

■会 派 名■

新…新国会 公…公明党 令…令和かがやき 共…日本共産党 ネ…市民ネットワーク
都…羽村市議会都民ファーストの会 世…世論 つ…つながる力 双…双葉会

会 派 名 簿

新 政 会

さくらざわ 桜沢 裕人 いけざわ 池澤 敦
のざき かずや あきやま よしのり
野崎 和也 秋山 義徳
とみまつ 富松 たかし 崇

公 明 党

かねこ 金子ひとみ
なかじま まさる
中嶋 勝
とみなが のりまさ
富永 訓正
いしし ひさお
石居 尚郎

令和かがやき

はやしだ あつこ
林田 敦子
はせひら こうぞう
馳平 耕三

日本共産党

はまなか じゅん
浜中 順
すずき たくや
鈴木 拓也

市民ネットワーク

もんま ひでこ
門間 淑子

羽村市議会都民ファーストの会

はまなか としお
濱中 俊男

世 論

やまざき よういち
山崎 陽一

つながる力

たかだ かずと
高田 和登

双 葉 会

かん ゆうしん
菅 勇真

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

一般質問

一般質問とは、議員が市の施策の全般について質問することです。

第2回定例会では、

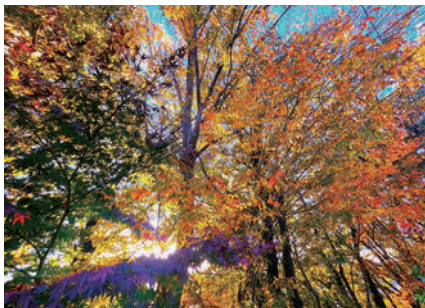
9月2日、3日、4日の3日間にわたり

17人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁にある施策の内容は、9月時点のものです。



《Q》体験型自転車交通安全教室を再開しては

《A》11月に第三中学校にて実施予定である



金子 ひとみ 議員（公明党）



以前、市内で行われていた体験型自転車交通安全教室

道路交通法改正と地域の安全対策について

携を図りながら取り組んでいく。

質問 体験型自転車交通安全教室（スケアード・ストリート方式）を再開し、中学生等に自転車の交通ルールの重要性を伝える取組の強化を。

市長 本年11月に羽村第三中学校で実施予定であり、高齢者や地域の方にも参加を呼びかけていく。

今こそ平和の流れを強固に

質問 「平和首長会議」に加盟している市として、核廃絶に対する考えと取組は。

市長 平和教育や啓発事業を通じ、戦争の防止と核兵器のない世界平和の実現に、平和首長会議加盟団体と連

質問 将来世代の平和意識を高めるため、修学旅行等において、平和教育を主眼としたピースツーリズムを推進しては。

教育長 各学校では、学校の教育目標や児童・生徒の実態、保護者の願いなどを基に、宿泊行事の行先や内容を企画・立案し、実施している。各学校の主体性を尊重し、宿泊行事及び平和教育の更なる充実に向け、引き続き支援していく。

こども家庭センターに

おける切れ目のない子育て支援について

質問 児童虐待の未然防止と早期発見の取組は。又、その課題は。

市長 関係機関を含めた地域全体の連携強化が必要。「羽村市児童虐待防止マニュアル」を改訂し、普及啓発に取り組む。



《Q》市として住宅政策を進めていく考えは

《A》「住生活基本計画」の策定に取り組む



石居 尚郎 議員（公明党）

高齢者にも配慮した住宅政策の推進を

質問 「東京都住宅マスタープラン」を踏まえて、羽村市として住宅政策を進めていく考えはあるか。

市長 住生活基本法に基づく住宅政策の総合的な計画となる「住生活基本計画」の策定に取り組む。

質問 空き家対策の計画策定の工程と策定期間を聞く。

市長 専門の事業者による市内の空き家の実態調査や現状分析を行い、空き家の所有者への意向確認調査等を実施し、令和8年度から「空き家等対策計画」の策定に取り組んでいく。

質問 高齢者福祉の観点から住宅政策を進めていく必



令和4年に策定された「東京都住宅マスタープラン」

要があるのではないかと。

市長 時機を捉えた任意後見制度の周知など、高齢者が将来自宅を空き家にしないための有効な情報を発信していく。

質問 仮称『マンション管理適正化推進条例』の制定を再度提案する。

市長 良好な管理を促進するための効果的な取組について、条例制定の必要性を含め、引き続き調査・研究を進めていく。

シティプロモーションの推進と移住・定住の促進を

質問 移住・定住を住宅政策に盛り込んでいく考えは。

市長 より実効性の高い住宅政策の構築を目指し、空き家を活用した住宅政策の視点も含め検討していく。



《Q》施設の点検方法・対処方法は現状通りで良いのか？

《A》引き続き適切かつ計画的に対応していく



中嶋 勝 議員（公明党）

施設の管理体制はこれで良いのか

近年、公共施設の設備故障が頻発している。

質問 故障原因は、築30年以上の老朽化という理由だけではないのではないか。

市長 使用頻度や、近年の猛暑など、複合的な要因もあるが、主な要因は老朽化によるものと捉えている。

質問 点検方法や不具合箇所への対処方法は現状通りで良いと考えているか。

市長 引き続き、各点検結果を踏まえ、よりの確に应急处置から根本的な改修まで、限られた予算の中で優先順位を精査し、適切かつ計画的に対応していく。



市内では公共施設の設備故障が相次いでいる

スポーツセンターの長期休館について

大規模改修と合わせ、令和10年3月末までの長期休館となった。

質問 大規模改修工事の前倒しや短縮等、休館期間を少しでも短くすることはできないか。

市長 工事の前倒しや工期短縮は、難しいものと捉えているが、適正な範囲内の工夫は行っていく。市民や各種団体からは、様々な要望をいただいており、引き続き検討を重ね、実現可能な範囲で要望に応えることができるよう取り組んでいく。

■その他の質問
町内会・自治会のデジタル化等活性化への支援を



《Q》市公式サイトに掲載されている問合せ先の統一を

《A》統一するよう作業を進める



富松 崇 議員（新国会）

羽村市の情報発信について

障害の有無や国籍等に関わらず、誰でも必要な情報にたどり着け、利用できるように更なる充実を図るべきだと考え質問する。

羽村市公式サイトについて

質問 掲載されている問合せ先に電話・FAX・ウェブフォームがあるが、電話のみや電話・FAXのみのページもある。統一するべきだと思いが、どうか。

市長 問合せ欄の記載について、一部にFAXやウェブフォームの記載がないページがあるので、統一するよう作業を進める。

質問 掲載情報の中に担当

広報はむらについて



9月1日号から連絡先等が見やすいよう改善を行った「広報はむら」



部署名と内線番号しか記載されていない場合、障害のある方や外国籍の方などは問合せをすることができないのではないか。

市長 障害のある方や外国人住民の方が、掲載した内容に関して容易に問合せができるよう、わかりやすく表示し、電話以外の連絡手段を明記するなど、紙面の構成や配置、掲載内容等について、工夫を凝らし、充実を図っていく。

質問 障害の有無、国籍等に関わらず、誰でも必要な情報にたどり着け、利用できる状況になっていると捉えているか。

市長 常に見直しと改善を図り、充実に取り組みことが重要であると捉えている。

《Q》クビアカツヤカミキリ駆除に奨励品の交付を

《A》今後も効果的な駆除方法を検討する



高田 和登 議員（つながる力）

特定外来生物の駆除について

質問 特定外来生物の駆除は地域の生態系を維持する上で重要だと考えるがどうか。

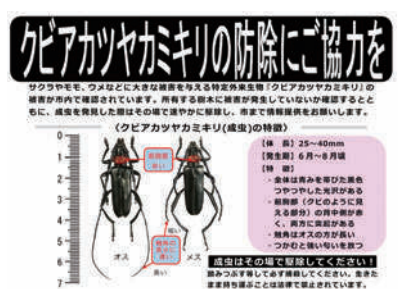
市長 オオキンケイギクなどの外来種を駆除することは重要である。広報はむらや市公式サイトを通じて継続的な啓発を行っていく。

質問 薬剤の散布による駆除については賛否両論があるが、市の考えは。

市長 やむを得ない場合に限り使用すべきものと考えている。周辺環境への影響の確

認や作業時の安全対策を徹底する必要がある。

質問 福生市は「クビアカツヤカミキリ」の駆除のた



「クビアカツヤカミキリ」駆除の啓発ポスター

めに奨励品を交付している。市でも検討しては。

市長 一定の効果があると推察するが、今後もより効果的な駆除方法を検討する。

公文書の管理について

質問 文書管理・電子決裁システムに約2480万円の予算がついているが、運用開始はいつか。

市長 令和8年4月から。

質問 システムの導入は多摩26市中何番目か。又、東京都62市区町村では。

市長 多摩26市中26番目の実施となる。都内23区は全て導入済みであり、東京都内では、53番目の実施となる。

敬老のついでについて

質問 来年度から対象者の

年齢を65歳以上とし、抽選制は継続し、年齢順に高い方から当選者を決める方式を提案するかどうか。

市長 今後の参加者の動向を見ながら、必要に応じて研究する。



《Q》木育が子供の成長に及ぼす効果は

《A》健やかな成長に多面的な効果があると考え



櫻沢 裕人 議員（新政会）

木育の推進について

質問 木育の定義及び役割への認識は。

市長 市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、多様な関係者が連携・協力しながら、材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶ、木材利用に関する教育活動と捉えている。

質問 市民の木育学習や子育て環境の充実に、「檜原森のおもちゃ美術館」を活用できるよう、檜原村との協定や市の補助による入館料の割引・団体利用の促進を図っているかどうか。

市長 市民の木育学習機会の拡充や子育て環境の充実の観点から、檜原村との連携



木製のおもちゃたち

携の可能性を研究する。

質問 木育の出発点は木に触れる体験であり、乳幼児期から始まる。木育が子供の成長に及ぼす効果について、市の見解は。

市長 木育は子供たちの健やかな成長において多面的な効果をもたらすと考える。

質問 子育て環境整備の一環として、市が取り組んでいる木育はあるか。

市長 子育て環境の整備に特化した木育に関する取組は実施していない。今後、子育て分野における木育の活用について検討を進める。

質問 木製玩具を乳幼児家庭へ贈呈する事業を実施しているかどうか。

市長 森林環境譲与税の有効活用と木育の意義や効果という観点から、総合的に研究する。



《Q》都市計画道路3・4・12号線暫定開通用途は

《A》令和8年度または9年度工事着手を目指している



秋山 義徳 議員（新政会）

羽村駅西口土地区画整理事業及び、周辺の都市基盤整備の現状と今後について

都市計画道路3・4・12号線について

質問 奥多摩街道から新興多摩街道までの用地確保の状況は。

市長 現時点で当該区間の道路用地は全て確保している。

質問 暫定開通の用途は。

市長 警視庁や東京都西多摩建設事務所との協議が整った時点で詳細設計を行う予定であり、接続する道路の整備状況を踏まえて検討する必要がある。そのため、現在、令和8年度または9年度の工事着手を目指しているが、現時点で明確な開



早期開通が望まれる都市計画道路3・4・12号線羽村大橋付近

通時期を答える事は困難。羽村大橋整備について

質問 東京都の説明会では、今年度は現状の橋脚の補修工事を行うとのこと。整備状況や今後の予定をどのようにに聞いているか。

市長 既設橋の補修工事は羽村市側、あきる野市側、河川部に分けて実施し、補修工事全体の完了までにおよそ4年かかる見込みとのこと。補修工事完了後は、搬入路の整備を行い、新設橋の工事に着手する予定だが、その時期については、各関係機関や関係者との協議、調整及び設計を行ってある段階にあり、現時点において未定であるとの説明があったと聞いている。



《Q》自転車おきば有料化の収支の試算結果は？

《A》収支はマイナスの試算となった



鈴木 拓也 議員（日本共産党）



空きが目立つ駅周辺自転車駐輪場

**自転車おきば有料化計画は
どうなったのか？**

質問 有料化した場合の収支の試算をしたことだが、どういった結果だったか。

市長 利用率の低下や物価高騰などにより、年間収支はマイナスの試算となった。

質問 有料化は行わず、敷地の舗装など最低限の整備に留めることが、最良の策では。

市長 問題点や課題を整理した上で、収支の試算などを踏まえ、検討している。

水上公園の活用検討は

どこまで進んだか？

質問 今年度は、どのような取組を進めるのか。

市長 「東京都子供の遊び

場等整備補助金」の令和7年度から9年度までの補助採択が決定。これを活用し、今年度はワークショップを開催し、意見などを計画や整備内容の参考にしていく。

質問 今年度中にプランを決定し、来年度から具体化に着手するスケジュールに変更はないか。

市長 今年度基本計画を策定し、来年度から詳細設計を行い、整備に取り組み。

質問 プレーパーク場は有力な案ではないか。

市長 検討材料の一つと捉えている。

児童館を使つての中高生の居場所づくりを進めよう

質問 夕方から夜にかけて「中高生タイム」として児童館を活用する自治体が増えている。実施しては。

市長 開館時間の延長やWi-Fi環境の整備などを含めた環境づくりについて検討を行っている。



《Q》公共施設のLEDランプへの交換必要数は

《A》令和7年8月末時点で約2万基が必要である



門間 淑子 議員（市民ネットワーク）

**脱炭素対策を進め
地球沸騰化を止めよう！**

蛍光灯の製造・輸入は、令和9年12月末で禁止となる。LEDランプは、蛍光灯と比べ消費電力やCO2排出が4分の1まで下がる。

質問 脱炭素対策としても有効であり、交換は急務である。

質問 LEDランプに交換済みの公共施設はどこか。

市長 令和7年8月末で、富士見小学校・五ノ神会館・加美会館など5施設。市役所庁舎など部分的に実施している施設もある。

質問 今後の交換必要数・交換予定は。

市長 約2万基が必要である。庁内の検討会議で、優先施設の選定・実施手法・

先施設の選定・実施手法・

先施設の選定・実施手法・



（経済産業省ウェブページより）
蛍光灯からLED照明への切り替えを呼びかけるポスター

財源確保など検討している。交換時期は、更新計画で定める。

質問 街路灯のLEDランプの整備状況は。

市長 約2860基をLED化し、整備率は約85%である。

質問 今後の交換必要基数・整備予定は。

市長 水銀灯など約540基。幹線道路の大型街路灯を中心にLED化に取り組み。

羽村駅西口駅前交通広場はいつ整備されるのか

質問 令和6年から11年までの事業費に駅前交通広場の整備の費用は含まれているか。

市長 含まれていない。権利者の協力が得られた際には令和11年度までに用地確保と線形が一定程度可視化できると捉えている。本格的な整備は、令和12年度以降を想定している。

その他の質問
平和啓発事業を更に進めよう！



《Q》外国人への日本語教育をどう支援しているか

《A》3つの小学校に日本語指導教室を設置している



浜中 順 議員（日本共産党）



日本語指導教室が設置されている小作台小学校

共に暮らす外国人が暮らしやすい市にするために

羽村市には多くの外国人が移り住み、欠かせない存在になっている。外国人への支援について質問する。

質問 市役所窓口での言語の介助は。

市長 外国籍市民支援員による支援や、通訳システムを活用し対応している。

質問 子育て支援は。

市長 妊娠届出時の面接を始め、育児・家庭に関する相談全般に通訳システムを活用し支援を行うなど、様々な取組を行っている。

質問 日本語教育支援は。

教育長 3つの小学校に日本語指導教室を設置し、専門教員が日本語指導や教科等の学習指導を行っている。また、複数の言語が堪能な2名の日本語指導員が複数の学校を巡回している。

不登校傾向の子供に最も有効な校内別室指導の充実を！

1校当たり約400万円から500万円あった東京都からの補助金が終了した学校は、別の予算を活用し、事業を継続しているが、1校当たり最大でも100万円と、極めて予算が低い。

質問 十分な予算化ができないために、不登校の児童・生徒を増加させることになりかねない。予算を確保し、子供たちの成長をしっかり保障すべきでは。

教育長 各学校は様々な工夫し、必要に応じて校内別室指導を行っている。引き続きすべての子供たちの学びの保障を行っていく。

■その他の質問
外国人に対する施策について



《Q》機能別消防団員制度の導入を検討しては

《A》消防団本部と協議を行いながら検討していく



野崎 和也 議員（新国会）

地域防災力の充実強化と消防団の支援体制について

質問 災害時に備えて、電源喪失時でも飲料を提供できる災害対応型自動販売機を公共施設へ設置しては。

市長 現在、市の公共施設に20台設置されている。

質問 富士山噴火に伴う降灰対応について、防塵マスク、ゴーグル等の降灰対応物資の備蓄体制は。

市長 災害対策用として、防塵マスクやシャベルを一定数備蓄している。今後は、ゴーグルなどの降灰対応物資も、計画的に備蓄していく。

質問 消防団の資機材整備には、現場の声や実際の訓練結果を踏まえた見直しを

行う仕組みが必要では。

市長 消防団とも意見交換を行いながら、必要なものを適切に支給、更新していく。

質問 活動の多様化に伴い、消防団の運営交付金を増額しては。

市長 消防団本部及び各分団に対して一律に、年間55万円を交付しており、現時点では適正な額と認識している。

質問 豊富な経験や地元事情に精通した元団員を、災害時の後方支援等を行う機能別消防団員として再度活用する仕組みが有効では。

市長 制度導入を具体的に検討したことはないが、元消防団員であった方々の経験や知見を生かす仕組みも含めて、今後、消防団本部と協議を行いながら、検討していく。

■その他の質問
企業版ふるさと納税の促進について



災害対応型自動販売機
（市役所本庁舎内）



《Q》人が亡くなった際の行政手続を簡素化できないか

《A》システム標準化で一部申請書の簡素化を図る



林田 敦子 議員 (令和かがやき)



おくやみガイドブック及びACPわたしの思い手帳

「お悔やみ支援窓口」設置の検討について

質問 人が亡くなった場合の行政手続の案内方法は。

市長 「おくやみハンドブック」を配布し、又、市公式サイトの「おくやみ手続きナビ」の活用を勧めている。

質問 手続の簡素化を。

市長 本年11月に予定される住民記録システム等の標準化により、一部の申請書はあらかじめ住所や氏名が印字されたものを提供できる。申請書を記入する手間が省け、簡素化が図られる。

多死社会における死生観の形成や後方支援について

質問 ACP(人生会議)について市の取組は。

市長 講演会や専門職によるワークショップを実施。

質問 市内医療・介護関係者がACPに関するワークショップに参加したが、その後、活用されているか。

市長 高齢者の総合相談の中で活かされている。

質問 民生委員や友愛訪問員への情報提供は。

市長 今後、情報提供を行うっていく。

民生委員、友愛訪問員との連携について

質問 地域包括支援センター、民生委員、友愛訪問員が合同で事例検討会を実施しているか。

市長 事例検討会は実施していないが、地域包括支援センターと民生・児童委員は情報交換会を年5回開催している。

ACP：アドバンス・ケア・プランニングの略。本人が希望する医療や介護について、本人を主体に、家族や医療・介護関係者等が話し合うこと。



《Q》公園が汚くなったとの声がある。認識と対応策は

《A》公園の維持管理面では大きな改善がみられる



馳平 耕三 議員 (令和かがやき)



市内公園

市民の声にどう応えるか

質問 指定管理者導入後、公園等が汚くなったとの声が強く寄せられている。現状の認識と対応策は。又、管理の在り方を見直せないか。

市長 導入後、公園の維持管理面で大きな改善がみられる。一方で、雑草が繁茂する時期等に対応の遅れに対する意見が寄せられている。指定管理者と情報共有を図り、必要に応じ指導・助言を行う。

質問 はむら夏まつりの復活を望む声が特に若者に多い。市はどう応えるか。

市長 来場者や携わる方々の健康と安全を第一に考えた場合、熱中症等の健康被害への危険性が高まる夏の

時期の開催は、困難であると判断せざるを得ない。

質問 スポーツセンター第1ホール天井材落下に伴う使用中止期間の活動場所の確保について、特別の配慮が必要ではないか。

市長 小中学校体育館の開放時間拡大や学校備品の貸出を依頼するほか、市内事業者に対し、施設の貸出の協力依頼を行っている。

質問 日野自動車と三菱ふそうとの経営統合により、市が受ける影響は。

市長 統合により、日野自動車株式会社羽村工場を日野自動車の子会社である「トヨタ自動車羽村株式会社」として設立し、その後、トヨタ自動車株式会社に譲渡される予定。現時点で影響を見通すことは困難だが、工場機能と従業員の雇用は維持されると聞いている。

■その他の質問
地域医療をどう守るか／これまでの教育施策の検証を



《Q》SNS による若年層に向けた選挙広報の見解は

《A》特性を活かした情報発信を更に充実させる



池澤 敦 議員（新政会）

選挙について

広報・啓発について

質問 SNSを活用した若年層への広報強化について、市の見解は。

選管事務局長 SNSの特性を活かした効果的な情報発信を更に充実させ、若年層を始めとする幅広い世代の皆様へ選挙への関心を持っていただけるよう、積極的に取り組む。

質問 投票済証のデザインを工夫するなど、投票行動を促す取組の状況は。

選管事務局長 令和6年7月執行の東京都知事選挙から「明るい選挙ポスターコンクール」の入選作品をデザインに起用している。今



参议院議員選挙の羽村市の投票済証
(令和7年7月執行)

後も工夫を重ねていく。

質問 投票済証を活用し、市内事業者の活性化に結びつく取組としては。

選管事務局長 割引等のサービスを受けられる「センキョ割」に取り組む民間団体や事業者があることは承知している。民間事業者が主体となって取り組むことが望ましいと考える。

主権者教育と若年層の政治参加について

質問 主権者教育で重点的に取り組むポイントと課題は。

教育長 ポイントは、児童・生徒の主体性の育成。学級や学校において、意見表明の機会、合意形成の機会、参画の機会をより充実させることが重要。課題は、専門的な知識や豊富な経験を有する外部人材の活用。その専門性を生かすことで、より効果的な学びの実現が期待できる。



《Q》公園の指定管理者に支払う年間の予算額は

《A》委託料の予算額は9157万5000円



菅 勇真 議員（双葉会）

市民の声について

公園の管理について

質問 公園の指定管理者に支払う年間の予算額は。人件費、管理費、維持費等の内訳は。

市長 令和7年度の公園等指定管理委託料の予算額は、9157万5千円。内訳は、樹木剪定・除草、遊具などの維持管理費7480万円のほか、人件費や管理運営費などである。

質問 市の担当者は、指定管理者が週2回行う各公園の管理の報告を定期的に受けているか。また、作業現場の確認はどのように行っているか。

市長 指定管理者との月1



ボランティアの方たちが集めた木の枝等

回の定例会において報告を受けている。電話連絡や公園台帳等管理システムにより、維持管理状況などの情報共有を図るとともに、市職員が、適宜、立会うなど維持管理等の状況や現場作業の確認を行っている。

羽村市の教育について

質問 福生市は不登校の中学生に配慮した特例校として、令和8年4月に市立第一中学校の分校を開校すると発表した。羽村市も福生市のような先進的な取組を考えているか。

教育長 現時点でいわゆる不登校特例校と呼ばれる「学びの多様化学校」を設置する予定はないが、「ハートモニースクール・はむら」の取組、各学校の校内別室指導の充実を図っていく。併せて、先進的な取組事例について、引き続き情報収集を行い、各学校と共有していく。



《Q》10年以上仮住まい、の説明。踏切周辺整備完了は

《A》説明した事実はない。整備時期の答えは困難



山崎 陽一 議員（世論）



東小学校への通学路は、開通時期不明の都市計画道路予定地

区画整理撤回要求第73弾

質問 羽村駅西口土地区画整理事業の全体完了は明確でないが、事業計画は変更せず2036年度終了か。

市長 事業計画は変更せず2036年度完了を目指す。

質問 6か年の後半に次期事業計画を検討とは、鎌倉街道の西側も入るのか。

市長 6か年の事業範囲達成が重要。現時点で次期事業範囲を示すのは困難。

質問 2024年度末の中断移転補償件数は。

市長 権利者数で53人。

質問 「美しく快適で住みよい活力に満ちたまち」とはどんなまちか。現在の西口は「汚く不快で住み難い

疲弊したまち」なのか。

市長 現状を表現したものではなく、目指すべき方向性を示したものの。

質問 移転率21%に対し、

市費執行率は40%で約2倍だ。道路率倍増のため、9

70棟を移転する補償費300億円は無駄ではないか。

市長 補償費は277億4500万円。建物等の仕様や経過年数に基づき精査する。

質問 線路に近い地権者は「10年以上仮住まい」の説明が公社からあったという。

市長 そのような説明をした事実はないと確認。踏切周辺整備は6か年事業範囲内だが答えることは困難。

質問 駅周辺商店や事業者の移転休業中の売上・仮営業所設置補償の件数は。

市長 休業中の収益減少・仮営業所設置費用を補償している。これまでの営業休止補償は5件、仮営業所補償は5件。

止補償は5件、仮営業所補償は5件。



《Q》ヒノトントンZOOの課題は？

《A》施設の老朽化や管理運営費の増加である



濱中 俊男 議員（羽村市議会都民ファーストの会）



ヒノトントンZOO（羽村市動物公園）でのエサやり体験

羽村市動物公園について

質問 令和6年度の入園者数は。又、ピーク時は。

市長 令和6年度は約18万5千人。開園した昭和53年

がピークで、約44万6千人。

質問 課題は何か。

市長 入園者数の減少や獣舎等の施設の老朽化、管理運営費の増加などである。

福祉施策について

質問 今年度、社会福祉協議会に委託している事業数と委託金額は。

市長 全10事業で、金額は2億1277万2千円。

質問 社会福祉協議会に委託している事業の課題は。

市長 増加が予測される相談業務に対応する体制を整えていくことが課題である。新たな取組として、市と共

同して重層的支援体制整備事業を実施していく予定である。

羽村市スポーツセンターの改修について

質問 利用者からの意見は。

市長 「練習や大会開催に支障をきたしている」「代替施設の利用が困難」などの貸出停止に伴う影響に関する意見や、工事内容等の

質問、早期再開を求める要望が寄せられている。

質問 利用者への対応は。

市長 市内小中学校体育館や近隣市町の体育館、都立羽村特別支援学校体育館などの代替施設を案内している。

質問 羽村市スポーツ協会から意見は届いているか。

市長 工事工程等の早期の情報提供や財政的支援の検討、加盟団体への配慮などの要望書が提出された。



議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和7年8月1日～令和7年10月31日の主な活動

8月

- 4日 ■ 東京都市議会議長会定例総会
- 5日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
■ 西多摩地域広域行政圏協議会審議会
- 6日 ■ 環境まちづくり委員会市民インタビュー(羽村市商工会女性部)
- 8日 ■ 監査委員協議会
- 20日 ■ 令和7年度第12回一般社団法人大多摩観光連盟通常総会
- 21日 ■ 西多摩地区議長会西多摩地区地域医療検討部会
■ 東京たま広域資源循環組合議会議員視察
- 25日 ■ 第12回議会運営委員会
■ 第22回議会改革推進委員会

9月

- 2日 ■ 第3回羽村市議会定例会(初日)
- 3日 ■ 第3回羽村市議会定例会(2日目)
- 4日 ■ 第3回羽村市議会定例会(3日目)
- 8日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算)
■ 第13回議会運営委員会
- 9日 ■ 第3回羽村市議会定例会(4日目)
■ 一般会計等決算審査特別委員会
■ 第1回公共施設再配置調査特別委員会
- 11日 ■ 第4回環境まちづくり委員会
■ 第4回総務委員会
- 12日 ■ 第4回文教厚生委員会
■ 第2回公共施設再配置調査特別委員会
- 17日～19日 ■ 令和6年度一般会計等決算審査特別委員会

- 22日 ■ 第14回議会運営委員会
■ 第23回議会改革推進委員会
■ 第9回広報委員会
- 25日 ■ 第3回基地対策特別委員会
■ 監査委員協議会
- 26日 ■ 第3回羽村市議会定例会(最終日)
■ 第6回議員全員協議会
- 30日 ■ 羽村・瑞穂地区学校給食組合議会議員等視察

10月

- 1日 ■ 西多摩地区議長会議員研修会
■ 西多摩地区議長会定例会議
- 6日 ■ 第10回広報委員会
- 14日 ■ 文教厚生委員会行政視察(神奈川県横須賀市)
■ 総務委員会行政視察【14-15日】
(兵庫県尼崎市、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター)
- 15日 ■ 環境まちづくり委員会行政視察【15-16日】
(福井県勝山市、福井県立恐竜博物館、めがねミュージアム)
- 17日 ■ 第39回羽村市都市計画審議会
- 21日 ■ 第36回東京都道路整備事業推進大会
- 24日 ■ 監査委員協議会
- 27日 ■ 第2回東京たま広域資源循環組合議会ブロック代表者会議
■ 第2回東京たま広域資源循環組合議会定例会
- 29日 ■ 全国市議会議長会基地協議会第113回理事会
■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会

しぎかいカレンダー

●第4回定例会(12月)の予定●

日	月	火	水	木	金	土
					11/21 陳情メ	22
23	24	25 議運	26	27	28	29
30	12/1	2	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6
7	8 予特 (補正)	9 本会議	10 常任委	11 常任委	12	13
14	15	16 議運	17	18	19 本会議	

■陳情メ…請願・陳情の12月定例会審議予定分の締切
 ■議 運…議会運営委員会
 ■常任委…常任委員会(総務、環境まちづくり、文教厚生)
 ■予特(補正)
 …一般会計等予算審査特別委員会(令和7年度補正予算)
 ※会議の予定は変更になる場合があります。
 詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は12月～

以下の方法で議会をご覧ください。

1 議場で傍聴 ライブで！

当日、市役所4階の議会事務局にお越しください。

2 ケーブルテレビで生中継

多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。

3 インターネットで録画中継

開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。



4 会議録で読む

会議終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式サイトから見るることができます。



羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

NHKが2019年に行った全国アンケート「地方議員は必要か」に、私たち地方議会議員約2万人が回答しました。

この中には、「市長提案をすべて通すだけなら議会は不要」の反省の弁や、「住民の関心が低い。もっと議会を知ってほしい」との声もありました。

「地域行政は地方自治体で決める」が憲法第8章に定められた「地方自治」。地方分権改革では「国と地方は対等」と明記されました。議会は市の事業や予算・決算、条例案などを審議し、住民の意見を反映させて可否を決定しています。財政悪化や人口減少が進む今、議会の役割は重要です。

議会を住民に知ってもらい、日々の学びを住民福祉向上に生かすことが、議員の仕事と考えます。

9月定例会での決算審査や条例案などの審議内容に目を通し、議会を知ることきっかけとしてください。(山崎)

【広報委員会委員】

鈴木 拓也(委員長)
 山崎 陽一(副委員長)
 林田 敦子 櫻沢 裕人
 金子 ひとみ 菅 勇真
 秋山 義徳 富松 崇
 中嶋 勝

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
 Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は再生紙を使用しています。